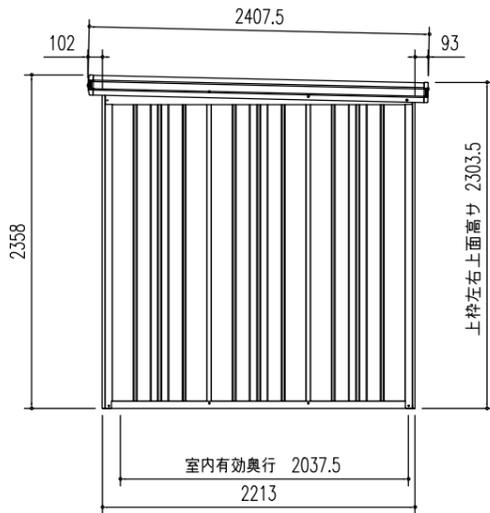
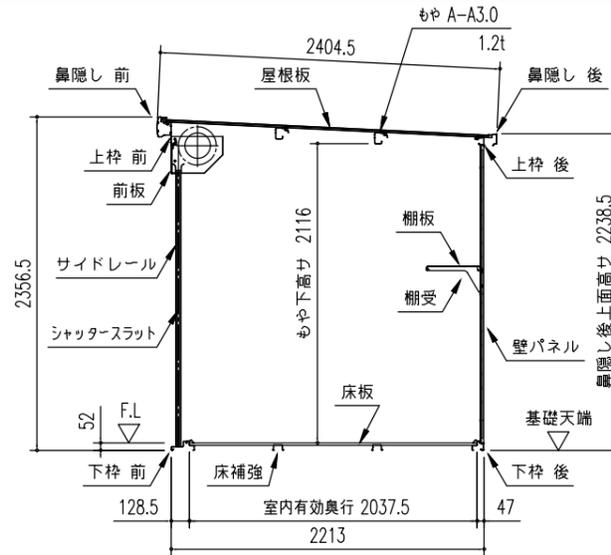


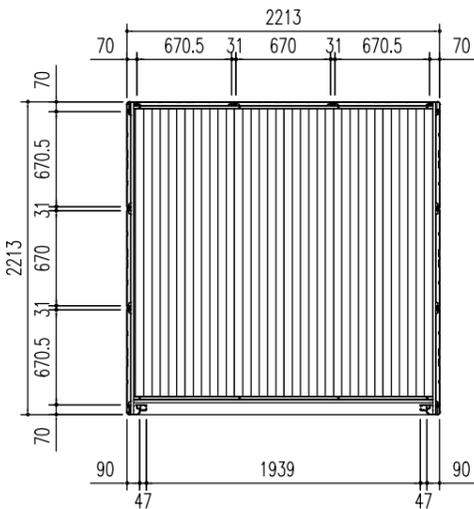
正面立面図 (S=1/50)



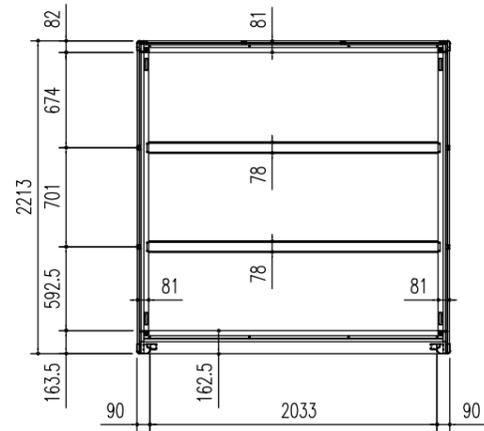
側面立面図 (S=1/50)



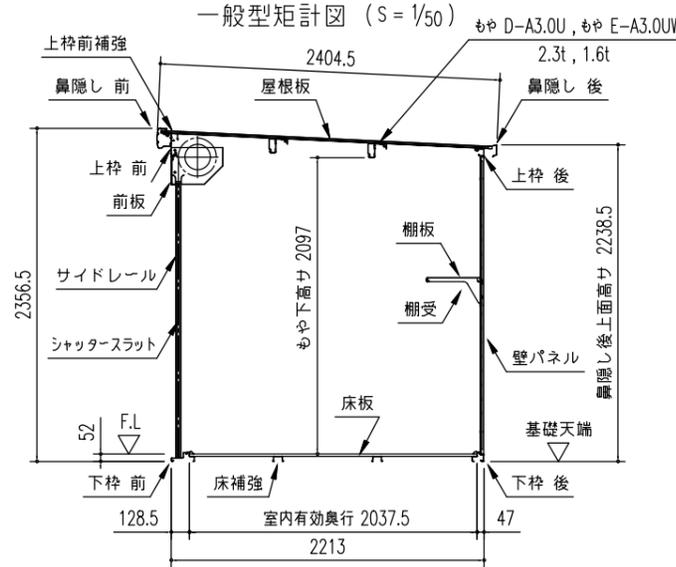
一般型矩計図 (S=1/50)



平面図 (S=1/50)



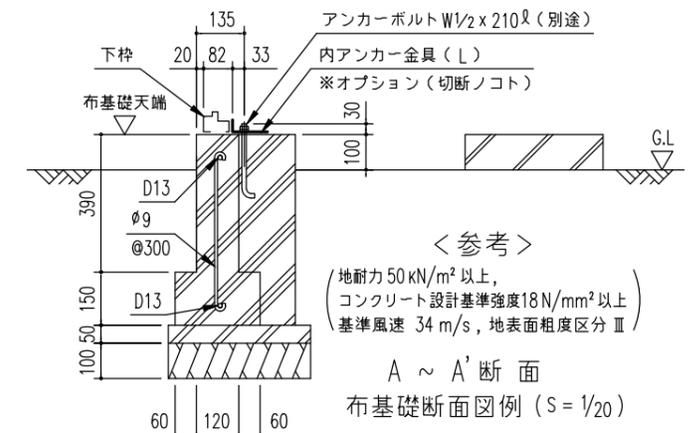
床伏図 (S=1/50)



豪雪型矩計図 (S=1/50)

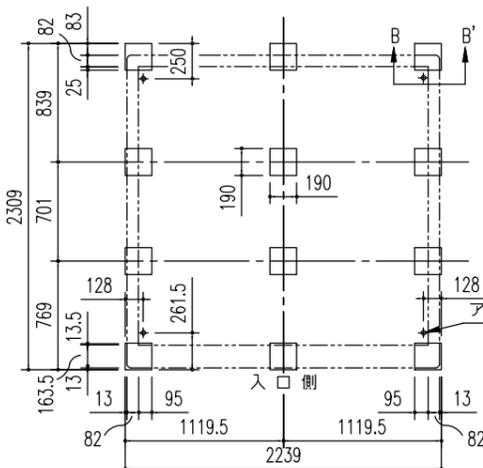
部 材 名	厚さ(φ/mm)	材 質
屋根板	0.4	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
床補強	1.2	JIS G3321 溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 SGLCC
<一般型>もや A-A3.0	1.2	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
<豪雪型>もや D-A3.0U	2.3	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC
<豪雪型>もや E-A3.0UW	1.6	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC
下枠前(側・後)	1.2(1.0)	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
上枠前(後)	1.0(0.8)	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
上枠前補強(豪雪型のみ)	1.2	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
上枠左右	0.8	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC(ツートンカラー)
鼻隠し前	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC(ツートンカラー)
鼻隠し後	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
前板	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
柱	0.8	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
シャッタースラット	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
シャッター水切り	-	アルミニウム合金押出成形材
壁パネル	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
間柱後	1.0	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
<一般型>間柱側	1.0	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
<豪雪型>間柱側	1.6	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC
床板	0.6	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
アンカープレート(L)	2.3	JIS G3302 溶融亜鉛めっき鋼板 SGCC(後塗装仕上げ)

部 材 名	サイズ(巾×高さ)
壁パネル H-A	670 × 2110

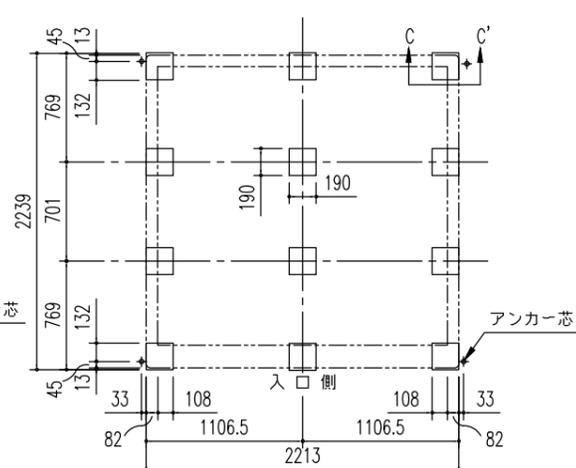


<参考>  
 地耐力 50 kN/m<sup>2</sup> 以上,  
 コンクリート設計基準強度 18 N/mm<sup>2</sup> 以上  
 基準風速 34 m/s, 地表面粗度区分Ⅲ

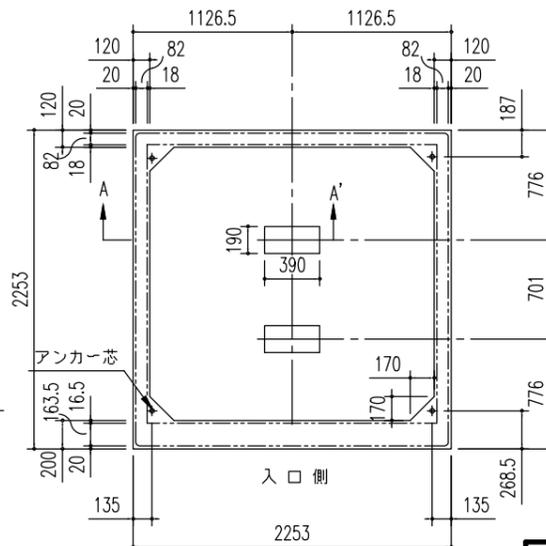
注1) 地耐力が 50 kN/m<sup>2</sup> 未満 (30 kN/m<sup>2</sup> 以上) の場合、底盤幅を 300mm とし、かつ補助筋を入れて下さい。  
 注2) 寒冷地の場合、凍結深度等を考慮し、実情にあわせて設計して下さい。  
 注3) その他現地の実情にあわせて設計して下さい。



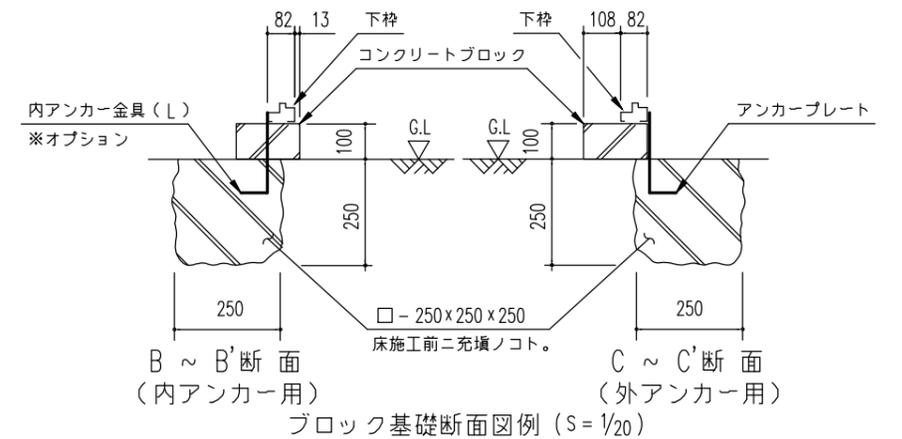
ブロック基礎伏図 (S=1/50)  
 (内アンカー用)  
 ※内アンカーセット(オプション)  
 別途必要



ブロック基礎伏図 (S=1/50)  
 (外アンカー用)



布基礎伏図 (S=1/50)  
 ※内アンカーセット(オプション)  
 別途必要



名 称	ヨド物置 エルモシャッター <単棟型>	<b>株式会社 ヨドコウ</b>
機種名	LOD(U) - 2222HF 型 <1/1>	